



2021年1月29日

各 位

会社名 富士紡ホールディングス株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 中野光雄
(コード番号 3104 東証第一部)
問合せ先 取締役 吉田和司
(Tel. 03-3665-7612)

中期経営計画『増強 21-25』について

富士紡ホールディングス株式会社(本社:東京都中央区、取締役会長兼社長:中野光雄)は、2021年度から2025年度までの当社グループ中期経営計画『増強 21-25』を策定いたしました。

2021年3月に終了します現中期経営計画『加速 17-20』では、研磨材事業・化学工業品事業では、研究開発力、生産能力の強化を進めるとともに、コスト削減、効率化、収益力の向上に努めました。また、繊維事業では、市場縮小に加えてコロナ感染拡大に伴う売上減に対応するため、サプライチェーンの最適化・高度化による競争力の増強や販売戦略の見直し、経費削減等、様々な事業改革を進めました。

今回策定いたしました中期経営計画『増強 21-25』では、未来のありたい姿から導出した2025年像と現状の延長線上の2025年像とのギャップを埋めるべく、中期的に取り組む施策を着実に実施し、持続可能な儲かるビジネスへの転換を図ります。

新たな計画における経営の方針は次のとおりです。

“圧倒的なニッチナンバーワン”を目指し、

- (1) 収益機会の“増”加(高成長・高収益な事業領域への特化・進出)
- (2) 提供価値の“強”化(ソリューション提供型の“高度受託ビジネス”化)
- (3) DXの継続・深化による、業務プロセス革新(デジタルを活用したサプライチェーン全体の高度化の一層の推進による、生産性の飛躍的向上)
を推進し、稼ぐ力を“増強”します。

これにより、2025年度の連結業績目標(売上高:600億円、営業利益:100億円)の達成に向けフジボウグループ一丸となって取り組んでまいります。

中期経営計画の概要につきましては、別紙(中期経営計画『増強 21-25』)をご覧ください。

以 上

※ 当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいて作成したものでありますが、記載された将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

[本件に関するお問合せ先]

経営企画部 大宅

TEL :03-3665-7602

E-Mail :tooya@fujibo.co.jp

中期経営計画『増強 21-25』(骨子)

(2021 年度～2025 年度)

2021 年1月 29 日

富士紡ホールディングス株式会社

I. FUJIBO グループの企業理念

私たちは、一世紀を超える歴史の中で培った技術と経験を生かし、つねに時代が求める新しい技術・製品を提供することで先端産業を支え、人・社会・地球環境にとってより豊かで持続可能な未来の創造に貢献し続けます。

II. FUJIBO グループの企業ビジョン

壁を破る、時代を拓く ～ メーカーとしての指針

主力事業の競争力強化、成長市場での新事業創出など、つねに壁をうち破るチャレンジを続け、人の暮らしと産業の発展に貢献する。

誠実な経営、持続可能な成長 ～ 経営の指針

コーポレートガバナンス、リスクマネジメントの強化が重要であると認識し、企業理念に則り、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまから信頼される誠実な経営を目指す。

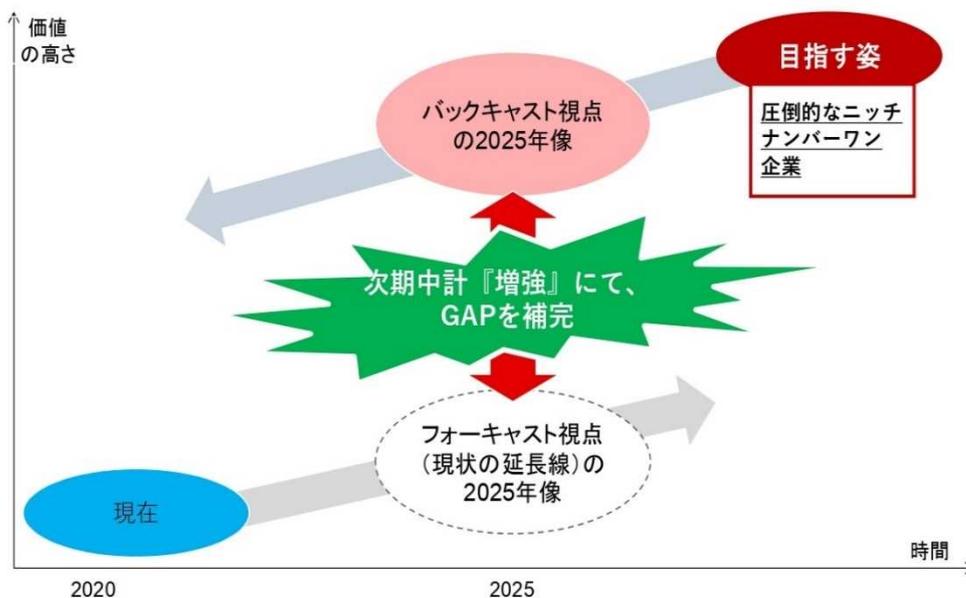
個を尊ぶ、和を育む ～ 労働環境の指針

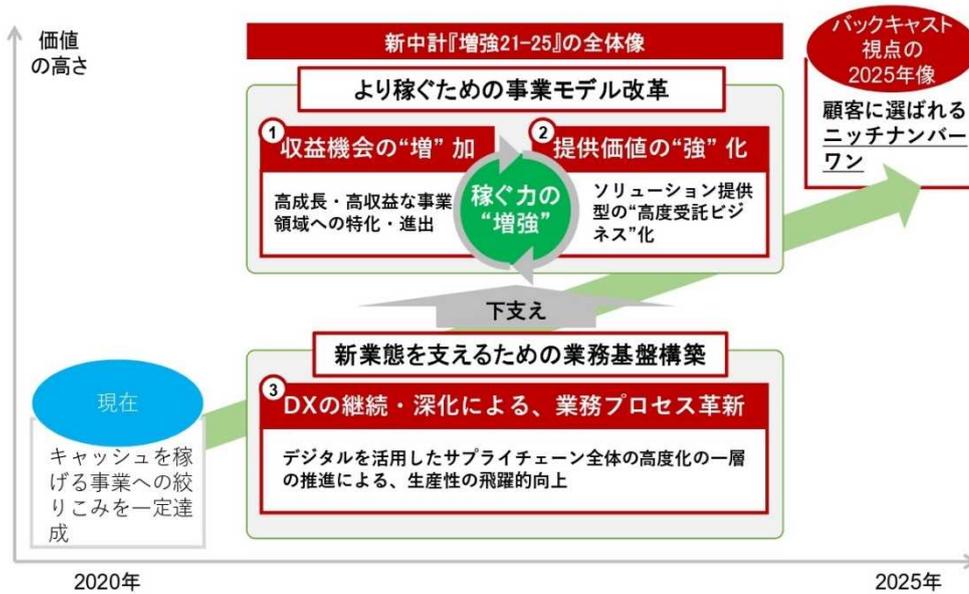
社員一人ひとりに公平な機会と公正な評価を与え、切磋琢磨して共に向上し合える環境を創造。個を尊重することで、競争力とチームワークが育つ職場を創る。

III. 新中期経営計画の全体方針

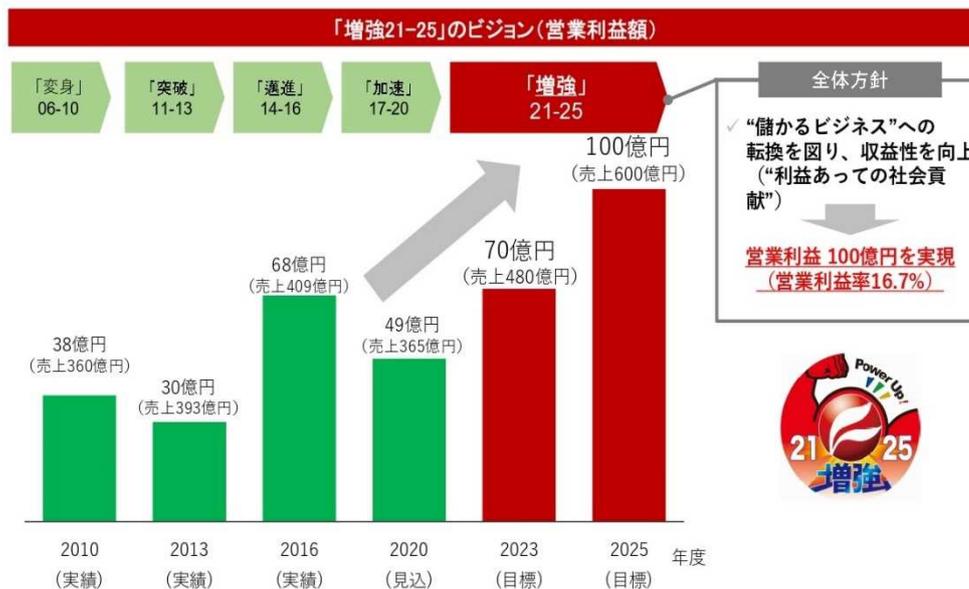
『増強 21-25』のビジョン

➢ “圧倒的なニッチナンバーワン”を目指し、稼ぐ力の“増強”とDXの継続・深化





IV. 経営目標



【2025年度(2026年3月期)の連結業績目標】

	2020年度 予想	2025年度 計画
売上高	365億円	600億円
営業利益	49億円	100億円
営業利益率	13.4%	16.7%
ROE	9.4%	10%以上
ROIC	9.0%	10%以上
自己資本比率	68.0%	65%以上

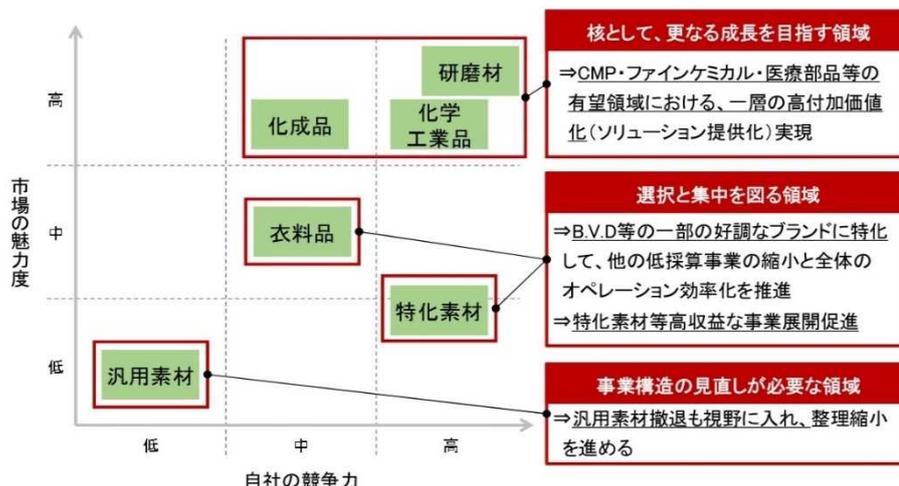
【セグメント別計数目標】

	売上高（億円）		営業利益（億円）	
	2020年度予想	2025年度計画	2020年度予想	2025年度計画
研磨材事業	130	280	33	70
化学工業品事業	135	200	12	20
生活衣料事業	70	70	2	7
その他事業	30	50	2	3
合計	365	600	49	100

V. 基本戦略

1. ポートフォリオ改革

- ① 研磨材・化学工業品・化成品事業における有望市場向けの更なる高付加価値化
- ② 衣料品・特化素材・汎用素材事業における低採算領域の構造改革を推進する。



2. 事業別の“増強”

事業別の強化方針	■「研磨材事業」
	➢ 業務プロセス革新、ソリューション型受託モデル推進による高付加価値化
	■「化学工業品事業」
	➢ ファインケミカル領域の拡大、開発支援ソリューション進出による高付加価値化
	■「生活衣料事業」
➢ Eコマース型ビジネスモデルへの転換と高付加価値商品の拡張	
■「その他事業」	
➢ 成形事業の医療分野への集中と金型事業拡大を推進	

VI. 投資計画

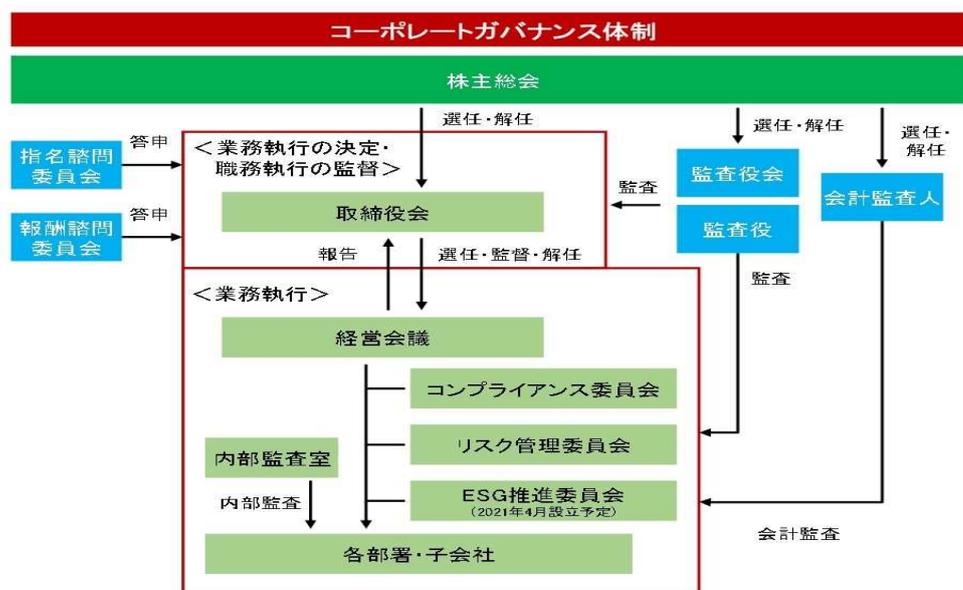
21-25年度累計	
設備投資	150億円
減価償却	150億円
M&A 予算など	100~150億円

VII. 株主還元方針

- ・中長期的な企業価値向上のため、成長投資に振り向ける内部留保を確保
- ・株主の皆さまへの還元を最重要と認識しており、配当は長期安定的かつ業績に対応して実施、自己株式の買入は機動的に実施

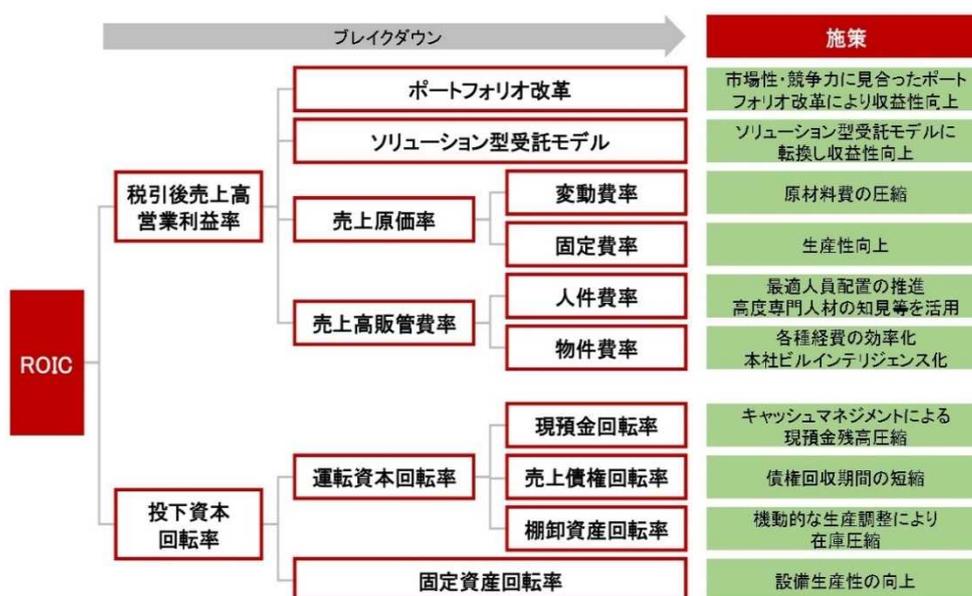
VIII. ESG(環境・社会・企業統治)・SDGsへの取組み

当社は、従来より独自のESG・SDGsに取り組んでおります(詳細は後日ホームページに掲載)。新中期経営計画においても、持続可能な成長を目指し、一層積極的に取り組んでまいります。



IX. 富士紡のROIC経営

ROICをブレイクダウンし、個々の施策を達成することで全社のROIC向上を図る。



以上